



Metro
Edmonton
Japanese
Community
School

コミュニティースクールニュース 2010年12月号

THE ASSOCIATION OF METRO EDMONTON JAPANESE COMMUNITY SCHOOL

代表者 守田幸男 (会長) 9443 Ottewell Road, Edmonton AB T6B 2E1 TEL: 780-466-3278

借用校舎 RICHARD SECORD SCHOOL 4025-117 St

URL: <http://www.ualberta.ca/~tkin/MEJCS-index.htm>

<校長からのメッセージ>

2010年も終わりを告げようとしています。今年の大河ドラマ「龍馬伝」も終了いたしました。歴史が大好きな私にとりましてそして特にこの幕末の時期が大好きな私にとりましては、かなり残念ですが、このドラマをきっかけに、さらに多くの若い人たちが幕末の日本の様子に、あの時の若い侍たちが日本の行き末を案じていた様子に興味を持ってくれ、そしてその興味を自身の生き方にポジティブに投影してくれたらなと思っています。私も、「坂本龍馬の様に行動したい」と何十、何百万人というであろう坂本龍馬フリークのひとりですが、よく考えて見れば、そういう風に歴史上の人物を引き合いにして、「のようになりたい、生きたい」と思うのは、日本独特のこの様に思うのですが、皆さんはどう思われるでしょうか。日本では、マンガ、アニメ、テレビゲームといったものから、テレビ、映画、小説、ビジネス書に至るまで歴史上の人物が出てくるのが非常に多く、知らず知らずそれらの人物に親近感を感じるのでしょうか。そうやって歴史が盛んに語られるのもまた、日本は何事も紙に書き残すという大昔から脈々と継がれてきた「紙の文化」の一部が後世の人たちにわかりやすく当時の様子を伝えているからでしょう。それらがいわゆる『歴史もの』をより躍動感あるものにより魅力的にしているのだと思われまふ。よく描かれる底抜けの明るさと前向きな姿勢の龍馬像は、司馬遼太郎の「龍馬がゆく」に負うところが多いのですが、それも龍馬が残したおよそ140通のユニークで、そしてエネルギーに満ち溢れた手紙、それも彼のなりを示したのびのびとした字体があったのこそです。先代の日本人が書き残してきたことで、歴史、当時の様子をわかりやすく伝えそれを現在において小説やテレビドラマに新たな形で私たちが享受しているともいえます。

こちらカナダの高校では CALM20 というクラスも教えてもう7年になるのですが、自分のあこがれの生き方などの討論をするときは、大体芸能人やスポーツ選手だとか、両親だとかそういう答え（それはそれで素晴らしいと思いますが）が大部分を占め、歴史上の人物が出てくるのは皆無です。そういう点も踏まえ以上の様に話をしてみました。皆さんはどう思われるでしょうか。また書き残すということに関連してですが、日本での国語教育は、小学校から高校生まで、基本的にすべて手書きで、日記、作文、小論文を仕上げます。それは、漢字力の定着を見ることのほかにも、書き残すといういわば日本の伝統文化に沿っているのかもしれませんが。補習校で生徒の皆は、毎日の宿題で日記や作文などいろいろ頑張っています。それらは、今の国語力のためだけでなく、将来そのころを振り返ったり、生徒の皆さんの子どもたち？

に伝えるためのものであるかもしれません。そう考えたら、作文や日記を書くのも楽しくなりますね。みなさん、冬休み、改めて歴史物の読み物にふれられたり、もしくは久しぶりに手書きで手紙を書いてみたりしたら楽しいかもしれませんね。

さて今年も、無事にそして大成功のうちに学芸会を終えることができました。今年は、役員会の守田会長、山本千恵子さん、松尾さんを中心に、長倉副校長、ジャクソンさんに全体の指揮をとっていただき、ステージ上では、ジョセリンさん、大場さん、松尾さん(ご主人)、各学年代表の皆様そして音響の佐藤さん、照明のヒュー斯顿さん、カメラマンの田中さん、ビデオマンの伊藤さん、茶話会のお菓子等をご準備、セッティングしていただいた滝田さん、中津さん、シンクレアさん、田中さん、プログラムの発行の阿部さん、受付のピリさん、ライバックさん、長田さん、そしてここで紹介しきれなかった他のボランティアの方々のご尽力によって成功いたしました。この場をお借りしてお礼を述べさせていただきます。ありがとうございます。

今年の学芸会を振り返ってみましょう。年中組さんの「大きなカブ」、今年はみなそれぞれがコスチュームを着てみて楽しくなる劇でした。みんな堂々としていましたね。年長さんの「ブレーメンの音楽隊」総勢16人が舞台上上がるという一番大きなクラスでしたが、みんなそれぞれが存在感を出してくれてしっかりまとまった劇でした。泥棒をしっかり退治できましたね。一年生の「オオカミと七匹の子ヤギ」大道具、小道具、衣装が素晴らしかったですね。クラスとしてのまとまりが良く見られました。二年生の「んまわし」、「ん」に気を配って話を進めるというユニークな視点がとてもよかったですね。みんな、セリフもばっちりでした。三年生の「真夜中のサンタクロース」それぞれのセリフをしっかり言うことができましたね。サンタさんが途中英語から日本に切り替わるところが面白かったです。四年生の「ちびまるおくん」劇自体もとてもコミカルで面白かったのですが、それ以上に大きな数の数え方があんなになっているのだという驚きの方が大きかったです。とても勉強になるそして楽しい劇でした。五年生の「桃太郎とゆかいな仲間たち」は、クラスの皆がとても楽しそうにそしてリラックスして劇をしているのが印象的でした。いろいろな日本のお話、アニメのキャラクターが出てきて華やかなそして面白い劇でした。六年生の「名探偵コナン 歩美ゆうかい事件」ともテンポのいいまるでテレビを見ているかのように完成度の高い劇でした。無事誘拐事件が解決できてよかった。急遽代役がいたことは、誰もわからなかったほど息もぴったりでした。中学一年

生の「消えた家宝」は、難しい（そうでもなかったですかね）語句をいちいち令嬢がきくのがおかしいのと同時に、それをわかりやすく説明することでそれが低学年にとって良い勉強になっているようでした。もう菜箸で編み物をするのではないでしょうね。最後の中学三年生、「20年後の三匹のこぶた」、彼らが6年生からしているシリーズものですが、今年はアクションでなく話術で見せてくれました。プロ顔負けの演技で、最初から最後まで笑わせてもらいました。また、内容も「宿題」がテーマただけに小さな生徒もすっかり引き込まれていたようです。

今年もまた各学年素晴らしいものでした。学芸会という学校行事としても成功でしたが、国語教育のみのこの補習校で、いわばこの機会は普段の成果を発揮する場でもありそういった意味でも大成功だったと思っています。皆様も、幼稚園から小学校、そして中学生と長いセリフを操って、見ている人たちは保護者という立場よりも単に観客となってリラックスして楽しめたと思います。幼稚園、低学年の生徒たちのしっかりした劇もさることながら、高学年になればなるほどあんなに日本語ができるんだ、あんなに日本語で表現できるんだということもみな感じていただけたと思います。この経験を胸にこれからの補習校生活をさらに意味あるものとして行ってくれることと期待しています。

さあ楽しい冬休みですね。三学期は一月七日から始まります。この間、各ご家庭に「冬休みの宿題」が配られます。ぜひ、ご家庭で一緒に毎日少しずつ取り組んでください。皆様楽しい年末をお過ごしください。そして素晴らしいお年を！2011年に皆様と笑顔とお会いするのを楽しみにしております。

校長 坂口 宗（はじめ）

<会長からのメッセージ>

寒い。。エドモントンの夏は、最高に気持ちいくて過ごしやすいんですけど、この冬の寒さには相変わらず慣れません。年を取るのはいやだけど、早く春が来て欲しいです。ちなみに私の故郷は徳之島っていう南の島なんですけど、今の気温は、17℃！。冬休みに日本に帰ってる人がうらやましい。。

あっ、、というまに2010年も終わりですが、皆さん良いクリスマス&お正月をお過ごし下さい。1月7日にまた元気にお会いしましょう。

業務連絡。教師募集中！あなた本人でも友人でも、興味のある方は、私か校長に気軽にお問い合わせ下さい。

追伸、四宮さんへ。静電気の回避方法、以前テレビで見たんですけど、金属に触る前に壁とか植物とかコンクリートなどの金属以外の物に触るといいらしい。また、ドアノブなどのよく触るところに紙やゴムのシールを貼るのも、電気をゆっくり逃がせるのでいいらしい。です。

会長 守田 幸男

<保護者便り>

今年11月から楓（一年生）、凜（年中組）でお世話になっております森下です。

私たちがカナダに来て半年が過ぎました。本当にあっという間でした。

楓も凜も日本育ち、カナダ人の主人とは離れて暮らしていた為、英語に触れる機会はありませんでした。「ハーフなのに英語がしゃべれず、しかも関西弁！」と言われたこともありましたが、でも子供の適応能力って本当にすごいですね！日々、英語の環境に慣れていく子供たちの姿を親ながら「すごい！」と尊敬しています。それと同時にいつか英語で物事を考え、日本語で話すことが辛くなってくる将来のことを思うと少し淋しい気もします。

過去のニュースレターを拝見させていただいて、英語環境のなかで日本語で読み書き、会話できるレベルを保つことがどんなに難しいことか、保護者の方々、生徒さんが苦労されているかを知りました。子供達はあっという間に大きくなってしまいます。子供達の日本教育にも、自分自身の人生も後悔しないように1日1日大切に過ごしていきたいですね。

森下美保

こんにちは。四宮 泰代（しのみや やすよ）と申します。補修校では小学校1年生の曼璃子（まりこ）とプリスクールの方（まさひろ）が4月からお世話になってます。

私たち家族は2010年の1月末に大阪からきました。こちらに来たときの印象は、

- ・とにかく乾燥が激しい。
- ・部屋干しした洗濯物が数時間後にカラカラに乾いてるのは驚きました。大阪では外に丸一日干しても、なかなかカラカラには乾いてくれません。
- ・静電気が痛い
- ・体質的に静電気を起こしやすいのか、何かに触れるたびにパチッとくるので、触るのが恐ろしいです。たまに火花が見えるときもあります。どなたか静電気回避方法をご存じの方教えて下さい。

・空が広い

大阪では空なんて建物と建物の隙間からみえるだけでしたが、こちらでは12階に住んでもあり地平線や日の出がばっちり見えます。

と、補修校に関係ないことばかり書いてしまいました。曼璃子も匡優も native Japanese ですが、曼璃子は最近補修校の後には、外国人が話してるような不思議なアクセントの日本語を話すときがあります。家では関西弁オンリーでも、そうなるんですね。

これから、ちゃんと授業について行けるように、そして楽しく日本語が話せるようになってくれれば、と思います。

四宮 泰代

はじめまして。

今年9月から、日本語補習学校でお世話になっているフロメント順子です。1年生に双子の娘モモ・ナナ。4年生にミミの3人娘がいます。

私たち家族はカナダ人の主人を含め5人家族です。4月に福岡の久留米市から引っ越してきました。エドモントンの夏はとても美しく、広くて青い空・湖や森の景色は感動もので、大満喫できましたが、冬に入り・・・多少パニックってしまいました。福岡出身の私も、雪を長く見ることもなく、雪の中の運転も経験がないため先月はかなり戸惑いましたが、今月に入りずいぶん慣れてきました。雪かきも初めての経験でしたが、思っていたよりは大丈夫。雪遊びをしたこともない子供達は、雪が降って大喜びでした。

親のいろんな心配は、この子供達の楽しそうな笑顔で一気に吹き飛びます。

初めは、“帰りたい。日本がよかった”特に長女ミミからは、“日本の話はしないで。写真も見せないで。思い出すと悲しくなるから。。。”と涙ぐんでお願いされたことがありました。

それも、今では乗り越えてパブリック小学校・日本語補習校ともに120%楽しんで通うことができるようになりました。

特に日本語補習校では、バリバリの筑後弁を話すことができ、のびのびと過ごせているようです。まだまだ慣れないカナダでの生活ですが、永住する予定ですので、親子ともども成長しながら、こちらで落ち着いていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

冬はまだまだ始まったばかりだよ・・・と、皆さんが脅かします。どんな極寒が待っているのか、楽しみにしています。

PS：日本にいた時から、ブログやってますのでよかったら覗いてください。

<http://ameblo.jp/rogersenglish/>

フロメント順子

<学芸会を終了して>

2年続けて学芸会の担当をしたにもかかわらず、たくさん至らない点がありましたが、ボランティアのご父兄の方々、各学年の担任、長倉副校長、役員会の松尾さんに助けられ、今年の学芸会も例年どうり大成功に終わることができました。この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。特に今年は、音響、照明のリハーサルを1度もする事が出来ませんでした。音響担当の佐藤さんと照明担当のヒューストンさんは当日パッチン音と照明を子供達の劇を合わせてくれました。ありがとうございました。それと今年はプログラムの絵を急遽、書く事になり、小学4年生の阿部みあちゃんが書いてくれました。みあちゃんありがとうございました。来年もたくさんボランティアを必要としますので皆様よろしく願いいたします。最後になりましたが、写真について、ジャクソンさんからメッセージが下記にありますのでお読みください。ビデオの方はただいま編集

中です。出来次第図書の方に保管しますので、楽しみにお待ちください。

学芸会担当 山本千恵子

学芸会の写真が出来上がりました。田中さんのご主人のご協力により、全生徒の楽しそうな写真が沢山あります。冬休み明けには図書室に保管しますのでぜひご覧ください。プリントしたものはほんの一部です。CDに多くの写真が入っていますのでご覧ください、また、コピーの欲しい方は各自の責任で行ってください。そして、図書に返却願います。

当日一日写真係をしていただいた田中さん、カメラをお借りした永田さん、ご協力ありがとうございました。

ジャクソン

<簡単ベイクドチーズケーキ>

もうすぐクリスマス、持ち寄りパーティーの多いカナダ、手作りチーズケーキは、如何ですか。

私の友人、尚美さんの簡単ベイクドチーズケーキの作り方、よろしければ試してみてください。

<材料>

市販パイ生地 2台分

又は小さいサイズのパイ生地 2箱 (24個分)

小麦粉 (ケーキ用) 1/3カップ

砂糖 3/4カップ

卵 L4個

生クリーム 250ml

クリームチーズ 250g

レモンジュース 1/2コ分

<作り方>

クリームチーズを常温で柔らかくしておきます。

オーブンの温度200℃にセットしてスイッチを入れておく。

大きめのボールにクリームチーズを入れ、ハンドミキサーで、クリーム状にします。(形がなくなる程度)

砂糖、卵、生クリーム、レモンジュース、小麦粉をすべて入れ、ハンドミキサーで10分以上良く混ぜる。(全体がフワリと柔らかい状態)

市販のパイ型に流し入れ、200℃のオーブンに入れ、10分ぐらい焼き、ちょっと焦げ目がついたら、次に温度を160℃に下げ、約30分焼く。

焼いている間、思いっきりパイ生地からはみ出しそうになるぐらいフワリ半円が出来ますが、さめたらへこみますのでご心配なく。

パイ型で焼く代わりに、市販の小さいサイズのパイ生地の中に流し入れて焼いたら、くっ付きやすいチーズケーキを切る手間もなく、なお簡単。

さめてからホイップクリームを乗せイチゴを飾れば、立派なデザートが出来上がり。

上の量だと大きなパイ生地2台分、小さいパイ生地は24個ぐらい作れます。

パイ生地がなくてもパイ皿に直接流し入れて焼いてもOK. そのほうがカロリー控えめですね、、、。
その場合はさめてから冷凍庫の中で冷やし固め、冷凍のまま一人用に切り分けてケーキ屋さんのように銀紙（マフィン用）で底と両サイドを包めば解凍した後も、くっ付きません。
美味しく出来ますように、、、。

朝居

<ボランティア募集>

会則と校則の整理、ストラテジックプランニング、奨学金委員会に協力して下さるボランティアの方を募集しています。詳細は後日発表します。興味のある方はブルースさんまでお知らせください。

bruce@interbaun.com

<新しい本の紹介>

長倉副校長より、新しい図書のお知らせが、このニュースレターと添付されていますので皆様、ご覧ください。

<1月、2月の当番>

／Parent Duty shifts Jan/Feb>

- 1月7日 松原、森下
- 14日 ウオン(黒木)、四宮
- 21日 ランドリー、栗林
- 28日 ジャクソン、ウォーカー
- 2月4日 マロン、佐藤
- 11日 森、比留木
- 18日 ライバック、浅利
- 23日(水) 山田(ルミ)、アベラナ(萩原)

毎週金曜日の日本語学校は、父母の皆様のお陰で運営されています。ありがとうございます。これからもスクールニュースをきちんと読み、自分の当番日を確認してください。当番に当たっている方がうっかり忘れるような事があれば、学校運営に支障をきたし、他の方にも迷惑をかける事になります。ご協力お願いします。当番表の作成は事務のダンウオールドが当たっていますので、質問や疑問、そして都合の良い当番日があれば調整しますのでお知らせください。

ダンウオールド (437-3457)

<ニュースレターについて>

ニュースレターへの記事の掲載をご希望の方は、担当の山本 (naoko2158@shaw.ca) までご連絡下さい。投稿の締切りは第3金曜日、発行は第4週です。

スクールニュース校正 アデイソン千恵子
編集 山本 奈穂子

